



明日を見つめる まちづくり ★ ストーリー

A Story of Tomorrow

まちづくり COOPERATION

Tomorrow's Story 5

住民と行政の 協働によるまちづくり

住民と行政の協働で安全・安心のまちづくり。笑顔の種まきは支えあいのところから。

一人暮らしの高齢者、障害者、子育て中の家庭など、社会の変化によって増え続ける「支援を必要とする人」を地域で見守る活動として、自主防災組織の立ち上げや見守りネットワークづくりなど、災害時における要援護者の把握が進んでいます。

町では、ボランティア団体や民間団体、地域の人びとと行政が共に支え合い協力し、安心で暮らしやすい町づくりを目的とした「地域福祉計画」を策定し、様々な取組を推進しています。

そのほか、子どもをまもる家の協力など住民と町による協働の取組は、毛呂山の目指す「共に支えあう暮らし」を実践するものであり、その役割は今や町に欠くことのできないものとなっています。また、町に花を植える花いっぱい運動など、その地域を愛する住民の活動が暮らしやすい町づくりの原動力となっています。

一人暮らしの高齢者、障害者、子育て中の家庭など、社会の変化によって増え続ける「支援を必要とする人」を地域で見守る活動として、自主防災組織の立ち上げや見守りネットワークづくりなど、災害時における要援護者の把握が進んでいます。

町では、ボランティア団体や民間団体、地域の人びとと行政が共に支え合い協力し、安心で暮らしやすい町づくりを目的とした「地域福祉計画」を策定し、様々な取組を推進しています。



子どもをまもる家

PTAの協力により始まった活動。地域の人がやさしく見守ってくれている。



自主防災組織活動

防災意識の向上とともに地域のコミュニケーションにも役立っている。



下田一甫 副議長



堀江快治 議長

もろやまらしさを大切に。 町民の良きパートナーとして 毛呂山の明日を考えます。



小山格 副町長

井上健次 町長

粟田博 教育長

毛呂山町議会は4年に一度の選挙で選出された町民の代表である14人の議員で構成されています。年4回開催される定例議会と必要に応じて招集される臨時議会によって条例の制定、予算の決定などを審議しています。議会は常に町民の声に耳を傾け、民意を反映させた方針決定を行います。

町では、第四次毛呂山町総合振興計画に基づき、自然環境を守りながら、安全・安心で暮らしやすい町を目指し、住民と行政の協働によるまちづくりを進めています。

The opinion of towns people



大野 文允ふみよしさん
(第二団地町内会長)

「災害時に一人も見逃さない」の合言葉を原点に、見守りを続けていきます。

「この高齢化社会のなかで、災害時に1人も見逃さないため、何かしなければならぬ」。そう考えた第二団地内、6地区の区長が民生委員と協力して、平成20年に「65歳以上の高齢者」と「障害を持つ人のいる家庭」を対象にした「見守りネットワーク」を発足させました。

地域から立ち上がったこの活動のお手本は何もなく、役場などの行政機関への協力要請や、要援護者に理解を得るなど、すべてが手探りでした。規約や登録カード、地図などが独自に編み出されました。今では町内に「協働、共助」の意識が高まり地域福祉活動が活発になっていますが、私たちのやり方がその活動の雛形ひながたとなっていると聞き、努力の甲斐があったと思っています。

日ごろは要援護者にこまめに声をかけ、状況の変化を常に把握するように心がけています。そのおかげで見守られる人からも「声をかけてもらって心強くなった」「顔見知りの人も増えた」などの声が寄せられています。将来は、この活動で地域全体のコミュニケーションが深まり、隣近所が互いに助け合えるまちができればと願っています。



議会

Developing the town by collaboration of residents and government.

People who need support such as elderly people living alone, disabled people and families raising children. We figure out who need help at the time of disasters and set up an organization for the self-disaster prevention and an observing network.

The town drew up “The Area Welfare Project” aiming to develop the town that is safe and comfortable to live by collaboration of volunteer groups, private organizations, and the government, and for local people to support each other, and support various projects.

Fire and crime prevention is Moroyama’s next project. Its aim is for people to support each other. This is essential for the town today.

The activities of the residents who love the area, such as “Full of Flowers Activity”, are the motivation for the development of the town where people can live comfortably.

Moroyama Town Council

Moroyama Town Council is composed of 14 councilors who are the town representatives elected once in four years. The councilors discuss the regulations and budget. The council always listen to the town residents and reflect their opinions in making a policy.